



園の保育目標

- ・心身ともに健康で友達と元気に遊べる子ども
- ・自ら考え、学び行動できる子ども
- ・のびのび自己表現できる子ども
- ・思いやりの気持ちを持てる子ども
- ・自分の思いを伝え仲間と協力できる子ども

クラスの保育目標

- ・自分でできることを喜び、自己有能感を育む
- ・秋の自然物に触れて楽しむ

先日までの暑さはどこへ行ったのか、どんどん肌寒くなってきましたね。子どもたちの服装も長袖がよく見られるようになりました。しかし半袖の生活に慣れきった子どもたち、手洗いの時に袖をまくるのを忘れてビショビショに濡れてしまうことも……。事前に声掛けし、手洗いの前には袖をまくるという行動がまた習慣づいてくれたらと思っています。

さて、前回のおたよりでは子どもたちが「お手伝い」や「お仕事」に張り切っている様子をお伝えしました。今も保育士から何かを頼まれると「任せて！」とばかりに顔を輝かせ、最近では「何のお手伝いする？」と自分から聞きに来る子も。頼られているんだ、役に立っているんだととても誇らしく思っているようです。自分のことを自分で行うことにも積極的で、おせんべいの袋を自分で開けたり、散歩の支度で帽子や靴下を身につけたり……「自分でできたよ！」と得意満面な笑顔を見せてくれていました。引き続き、保育士の手が必要な場面では援助しながら、達成感や自己有能感を味わえるようにしていきたいと考えています。

久々に行ったお散歩では、街の人々へ挨拶する声比以前より大きくなっていたり、以前より早く公園に到着できたりと、夏の間成長を感じられる姿が多く見られました。今月も秋ならではの植物や生き物に触れたり、思いきり体を動かしたりして楽しみたいですね。



久々のお散歩♪
中央公園までの長い道のりも
頑張って歩いていました

ベンチの下のダンゴ虫を
上から覗き込んでいる姿です
皆に覗かれてダンゴ虫もびっくり？

